

令和6年度 地域おこし協力隊アドバイザープロフィール

ふりがな		にしじま かずひろ			
氏名		西嶋 一泰			
所属・役職		島根県立大学 地域政策学部 講師 一社)しまね協力隊ネットワーク 副代表			
所在地		島根県			
略歴		1985年大分生まれ、東京育ち。立命館大学文学部、同大学院先端総合学術研究科修了。日本学術振興会特別研究員、筑波学院大学非常勤講師、島根県大田市地域おこし協力隊、映像や記事を制作するフリーランスなどを経て現職。 もともと「地域の祭り」をテーマに研究を行っていたが、「地域おこし協力隊のサポート」や「大学と地域の連携」もテーマに加え活動している。			
地域おこし協力隊に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	島根県大田市の地域おこし協力隊として約3年間活動。同市の教育魅力化コーディネーターとして、山村留学センターの情報発信、SNS運営、動画制作、地域や関連機関との連携を推進。 しまね協力隊ネットワークの主要メンバーとして、島根県の地域おこし協力隊の基礎研修、合同研修、オンラインセミナーなどを企画運営(平成30年度)。特に、コロナ禍における研修のオンライン化やネットワークづくりに尽力。			
	これまでに関与した地域おこし協力隊に関するプロジェクト	・島根県におけるOBOGネットワーク運営 ・島根県における地域おこし協力隊支援体制の構築・運営 ・島根県における研修や活動発表会のアーカイブ化 ・島根県立大学と地域おこし協力隊との連携(しまね協力隊百花など) ・中国5県地域おこし協力隊研修会の企画・運営(令和4年度)			
助言可能な内容		☐	募集企画の作成・魅力度の向上	☐	任期終了後の支援
		☐	受入体制づくり・受入の増強	☐	都道府県OB・OGネットワークの推進
		☐	市町村のサポート体制の強化		その他(詳細は以下に記載)
		☐	情報発信の強化		
		☐	「地域おこし協力隊インターン」等の活用推進		
自治体へのメッセージ		地域おこし協力隊という制度は自由度が高いぶん、導入や運用次第でうまくいくこともあれば、ミスマッチに終わることもあります。どうすれば制度をうまく運用し、隊員が望ましい活動やキャリアを積んでいけるのか。まずはゆっくり話していきましょう。			